

市内事業者と連携した「浜松市 雑がみ分別袋」の無料配布について

浜松市では、ごみ減量に関する取り組みを行っていますが、その中でも家庭から出る、もえるごみの約3割を占める紙類の減量を啓発しています。特に、紙類の中で約35%を占める「雑がみ」の分別・リサイクルを推進するため、「雑がみ分別袋」を、令和5年9月1日から、市内事業者の店舗において、購入商品の持ち帰り用袋として無料配布します。店舗での取材をご希望される場合は、調整いたしますので、当課までご連絡ください。

1 配布期間 令和5年9月1日（金）から ※無くなり次第終了

2 配布場所・枚数 計31,400枚

（50音順）

- ・杏林堂薬局（西伊場店、ピーワンプラザ天王店、和田店、芳川店、引佐店、内野店）
計2,400枚（各店舗400枚）
- ・とぴあ浜松農業協同組合 12,000枚（令和5年度中）
※直近では10月中旬のファーマーズマーケット浜北店で開催される、植木祭りにて配布
- ・長坂養蜂場はちみつスイーツアトリエ 4,000枚
- ・浜松サザンクロスほしの市 1,000枚
※9月10日（日）のマーケット開催時に配布
- ・谷島屋（浜松市内各店舗）計12,000枚

3 配布物 「浜松市 雑がみ分別袋」




※昨年度、若者を中心とした幅広い世代が持ち歩きたくなるような「雑がみ分別袋」の新デザインを、静岡文化芸術大学の学生を対象に募集し、最優秀賞のデザインで「雑がみ分別袋」を制作しました。

<デザインの意図及び昨年度の配布については裏面をご覧ください>



【参考】

| デザイン | デザインの意図 |
|---|--|
|  | <p>紙の原料である木を想起させる葉と、雑がみの再生、すなわちループを意図したマークを掛け合わせたロゴデザインを制作し採り入れたものになります。</p> <p>キャッチフレーズは「LET' S COLLECT! ZATSUGAMI」としました。語感のよさやわかりやすさを意識し「ZATSUGAMI（雑がみ）」という日本語をあえて用いています。また主張しすぎない採り入れ方によって、気軽に持ち運べるようにしました。</p> <p>さの はやみ 佐野 颯海さん（静岡文化芸術大学 デザイン学部 デザイン学科3年 ※受賞当時）</p> |

[参考]昨年度の配布について

最優秀賞のデザインで制作した「雑がみ分別袋」を、令和4年12月1日～令和5年1月31日にかけて、市内の「イオン」各店舗、遠鉄百貨店（一部売場）、無印良品浜松遠鉄百貨店、静岡文化芸術大学において、購入商品の持ち帰り用袋などとして45,000枚無料配布。

